

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム生きがい(第一ユニット)	評価実施年月日	H21. 8. 1~H22. 2. 2
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	H22.2.15

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>昨年、これまでの理念の見直しを図り地域の結びつきを取り入れた理念を作り上げました。</p>		<p>今後も新しい理念とポリシーを念頭に置き、サービスを行っていきます。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>玄関ホール、フロアー、キッチンなど職員の目の届く所に掲示している。社内研修などで再確認しながら取り組んでいる。</p>		<p>日々の生活の中で実践している。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>見やすい場所に掲示している。入居時・面会時・口頭にて説明している。運営推進会議の時も説明しています。</p>		<p>運営推進委員会などで、家族や地域の方に日々の生活や取り組みを伝えています。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>近隣の施設の方々が散歩の時などに挨拶をかわしている。ホームでの催し物がある時は声掛けし参加して頂ける様にしています。</p>		<p>お互いの行事があった際には参加し合っています。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>地域の小学校の運動会、学習発表会に出掛けたり、近隣の収穫祭に参加し、ホームの行事にはお知らせし交流を図っています。</p>		<p>地域の小学校の方が運動会など参加も色々考えて頂いたり、地域の夏祭りの際は子供みこしが来てくれます。</p>
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>近隣や他の施設の花植えの時は一緒に行っています。</p>		<p>お互いの行事の時に参加し合い関係を深めていきます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>自己評価など職員に記入してもらい、職員全員が理解し活かせるよう取り組んでいます。</p>		問題点や改善点があれば、課題として取り組んでいます。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に一回開催し、委員会の方々に日々の取り組みを報告し意見を伺っています。また、それ以外の時も必要に応じてその都度、意見、要望に対応できる様にサービス向上に努めている。</p>		今後も継続していきますが、委員会に参加して下さる方が増えれば、もっと向上につながると思います。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>書類を提出する時に、窓口で相談しています。</p>		今後もサービス向上に取り組める機会を作り行っていきたいと思っています。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>社内研修などで学んでいます。ホームでは成年後見制度を利用されている方がいます。</p>		今後も機会を作り続けていきたいと思っています。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>社内研修などで学んでいます。日々職員同士で注意を払い確認しています。</p>		今後も学ぶ機会や話し合いを多くし、虐待防止に努めていきたいと思っています。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約については、御本人や家族と面談し、よく話をし疑問点があれば説明し納得して頂ける様対応しています。</p>		重要事項説明書に書いてるが、説明を求められた時は都度対応しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時の時などつね日頃何でも話して頂ける様な雰囲気作りを努めています。		職員全員で意見・要望があればいつでも伺い対応しています。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	2ヶ月に一度、健康状態等の近況報告や金銭収支報告書など郵送しています。面会時・電話などで日々の様子など伝えています。又面会時には写真帳などで生活状況を見て頂いています。		これからも続けていきたいと思えます。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族から意見、不満、苦情等があった時は、フロア会議などで話し合い、これからの運営に反映させるよう努めています。玄関に説明文と共に意見箱を設置しています。		苦情は無いが、何かあればいつでも話してもらえるように、これからも努めていきます。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の意志や要望はフロア会議やその都度聴き、話し合ったことを反映させていきたいと思えます。		これからも職員の意見や要望を反映させていけるように対応し努めていきます。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	勤務体制は、早番、日勤、遅番で動いているが、要望があった時や入居者の緊急時(健康状態や状況)には柔軟な対応が出来るように努めています。		職員間での要望にも調節出来るように対応し努めています。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動や離職があった時は利用者へのダメージが最小限に抑えられる様、職員がいつもより多く関わりをもつ様にしています。		利用者の関わりを多くし、少しでも不安や寂しさを解消して頂ける様に配慮する様に努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>毎月、社内研修を実施しています。実践者研修や市役所、保健所などで行っている研修に参加して、フロアー会議の時などに話し合っています。</p>	<p>これからも社内、社外研修にも多く参加したいと思います。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>道内のグループホームにも見学へ行き、サービスの質を向上出来る様にしています。</p>	<p>これからも同業者との交流の機会を持ち、質の向上に努めたいと思います。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>悩みやストレスがある時は他の職員同士で相談したり、主任、チーフが相談に乗り話を聞いたりしています。</p>	<p>これからも職員同士が話し合ったり相談できる環境を作りたいと思います。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>職員の努力や能力を生かしていける様に努めています。又、資格の取得も勧めています。</p>	<p>今後も職員個々が向上心を持てる様にしていきたいと思います。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居相談時は本人にお会いし、不安なことや困っている事を聴き取り、受け止める努力をしています。</p>	<p>入居前に出来るだけご自身での見学を勧め、ホームの様子を見て頂きお話を聞く様に努めています。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族が困っていることや不安なこと、求めていることを聴き取り、受け止める努力をしています。</p>	<p>何かあればいつでも話していただけるようにお話しています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御本人や家族の方が必要としている支援を見極め、対応していく様努めています。		本人や家族の相談時に必要としているサービスが出来る様に対応し、必要があれば他のサービスへの対応もしています。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご家族だけではなく本人にもホームの見学をして頂きホームの雰囲気を感じて頂き、本人が納得し、安心して入居できる様にしています。		何度でもホームの見学をして頂き、ご家族や本人にも納得して頂くようにしている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	一緒に過ごす事で、職員が教えてもらったり手伝って頂き支え合う関係を築いています。		日々の関わりの中で、今後も共に学び、支え合う関係を築いていく様支援しています。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会時には、本人の様子などお話しして、家族からの意見も聞き、より良いサービス出来る様にしています。		これからも、ホームの催しなどに参加して頂き、一緒に過ごすなどしていきたいです。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人と家族間の関係を把握し、より良い関係でいられるよう支援しています。		本人と家族の関係を理解し、面会時や、電話などで連絡を取っています。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会や手紙、電話を通し関係を継続し、本人の馴染みの人や場所へは家族の協力を頂きながら途切れないよう支援に努めている。		これからも出来る限り、本人の希望に添ってご家族の協力を頂きながら支援していきます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士がそれぞれの関係を把握し一人ひとり孤立する事が無い様に支え楽しく過ごせるように努めています。		利用者同士が、より良くコミュニケーションが出来るように支援しています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退所時には今後の生活が安心して送れるよう病院・施設・家族との連絡を取るよう努めています。		退所してからも、利用者、家族ともいつでも訪れてもらえるような関係を作りたいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話や行動から希望や意向を把握するように努めています。		本人の希望や意向など聞き、今まで暮らしてきた様子など把握しこれからも続けて行く事が出来るようにしたいと思います。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の生活の中から話を聞いたり家族の方から聞き把握に努めています。		これからも、その人らしい生活が出来るように支援していきたくと思います。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	本人の一日の流れを把握しバイタルチェック等で身心の状態に変化がないかを見守りしています。		職員同士で連絡しあい情報交換を行っています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	本人や家族の話を聞き。職員で話し合いをしサービス計画書を作成しています。		本人・家族からの聞き取りをもとに主治医にも相談し担当者会議で話し合い、サービス計画を作成しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の見直しの時は担当者会議を開催し、モニタリングをして現状に即した計画作成をしています。		日々の情報交換で、本人の状況に変化があった時は、本人やご家族と話し合いをし、新にサービス計画を作成します。
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	情報を共有し日々の職員が介護記録に記入しています。担当者会議でもモニタリングを元にサービス計画の見直しに活かせるようにしています。		介護記録に職員が一日の現状を記入している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	家族が同行できない通院や美容室の介助や、また、家族と一緒に食事をして頂いたり、希望があれば宿泊出来る、ゲストルームも準備しています。		これからも継続し、要望が有れば対応できるようにして行きたいです。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	近隣の小学校等の行事等に参加させて頂いている。民生委員さんには運営推進委員会等に参加して頂いている。ボランティアによる、指圧、茶道、歌会や夏祭りへのボランティア活動も行われている。消防署は年2回の消防訓練や救命救急法の指導をして下さる。		これからも継続し、気軽に行けたり、来れたりする関係作りをしていきたいです。これからも協力をお願いしていきたいと思います。
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域のケアマネジャーやサービス事業者と連絡を取っている。		これからも相談し協力を得ながら行っていきたいと思っています。
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要時には相談をしています。		これからも必要時には相談していきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	協力病院があり、定期的を受診や往診をしており、必要な支援を受けています。また何かあった時はすぐに対応して頂けるような関係を築いています。家族の希望の医療機関の受診時は家族対応で行っている、家族の状況によってはホームでの受診も行っている。		定期的を受診・往診・検査を受けています。病院からの病状の説明を家族に行っています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力病院があり、定期的を受診をしており、治療してもらっています。		定期受診を続け、職員は医師の指示を共有しながら支援を行ってまいります。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	非常勤の看護師と連携をとり、日常の健康管理や、受診の必要性等支援してもらっている。協力病院の外来看護師長にも相談しています。		これからも看護師との連携を密にとり、緊急時には素早く対応していけるようにしていきたいです。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	家族・病院と連絡を取り情報交換をしています。退院に向けての相談も受けています。		退院後も協力体制を整えている。今後も入院中の情報交換や退院に向け連絡を密にしていきたいと思っております。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	協力病院と相談し、本人や家族・主治医と話し合い、方針を共有できるように努めています。		必要に応じ、その方にあつた機関の利用を支援しています。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	主治医や家族に相談しながら、支援するよう努めています。		主治医の治療を受けながら支援を行ってまいります。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49	<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	なし(ホームから医療機関に転院のみ)		そういう状況にあった時考えたいと思います。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	人生の先輩として、教えて頂く立場と考えながら、接しています。お話しする時は、はっきりゆっくりした口調で対応しています。		記録は本人が話した事を書くように勧めています。また、介護記録の取り扱いについても、日々確認しながらプライバシー保護を徹底していきたいです。
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	自己決定や希望を表す事は難しい時もあるが、職員は本人が安心して暮らせるように支援しています。		利用者が自己決定出来るように支援していきたいと思います。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	一人ひとり、その日の状況で、日常生活をゆったりとしたペースで過ごせる様に心掛けています。		これからも継続していきたいです。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	各自がその人らしい服装が出来るように支援しています。理容・美容は、本人や家族の要望に応じ、利用し好きな髪型が出来るように支援しています。		これからも継続していきたいです。
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	職員と利用者が、一緒に食事の準備や、食卓の準備、片付けを行い、同じ食卓で楽しく食事が出来る様支援しています。		これからも継続し利用者が出来る事を見つけていきたいです。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ホームではタバコを吸われる方がいない。お酒は提供していないが、飲み物やおやつは出来る限り、好みの物を提供しています。		一人ひとりの嗜好に出来るだけ考慮しています。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導、声掛けを行い、気持ちよく排泄できる様支援しています。		個々の排泄パターンを職員間で把握して、気持ちよく排泄して頂き、夜間は安眠できる様に支援していきます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	曜日、時間は大体決まっているが、その中で自分のペースで入浴を楽しんでもらえる様に支援しています。		職員の見守りの元、入浴を楽しめる様に支援しています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中の活動量の確保や様子を観察し、安眠に向けて支援しています。		その日の睡眠状況に応じて、昼寝をして頂いたり、日中の活動量など支援していきたいと思ひます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	一人ひとりの希望や状態に合わせて、家事の役割や、楽しみ事(茶道・歌会・喫茶・散歩)に参加してもらっています。		個々の役割や楽しみ事を知り、張り合いのある生活を送れる様に支援しています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自分で金銭管理をしている方はいませんが、希望があれば、家族に確認をし必要に応じて小銭等の少額を所持してもらっています。		近くに買い物出来る所はないが、いつでも一緒に買い物に行けたら良いと思ひています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	職員と近隣を散歩したり、催し物に参加したり、ご家族の協力のもとドライブや外食へ出掛けたり自宅で過ごしたりしています。		これからも体に負担の掛からない様に、戸外に出掛けたり、行事にも参加したいと思います。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	バスレクリエーションとして、春と秋に2回程(花見、紅葉見学)が計画されているが、今年はインフルエンザなどの流行があり実施できなかった。		家族と出掛けられる方もいますが、そのような機会がない方の為にも、これからも実施できるようにしていきたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族や友人へ電話を掛けたいときは、いつでもかける事が出来ます。手紙を書く様に声掛けしていますが、書かれる方はいません。		電話を掛けたい時は、いつでも支援できる事を話しています。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも家族・親戚・友人が面会され、居室やフロアでゆっくりお話しされて過ごされています。		家族・親戚・友人が良く面会に来られています。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	社内研修として3ヶ月に一度、身体拘束廃止委員会を開催しています。拘束は必要なく行っていません。		これからも継続していきたいと思います。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は、鍵は掛けていません。		玄関は夜から朝まで、施錠はしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	昼夜共に職員間で入居者の様子や所在を把握しています。その様子は介護記録に記載しています。		記録を読み、申し送り様子、所在を把握し、安全への配慮を行っています。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	ハサミ、爪切り、刃物、洗剤、薬などは、職員が管理して保管しています。本人が希望する時は状況に応じて渡しています。		入居時に家族にお話しし、了解を得ています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	社内研修でくり返し学んでおり、職員は入居者の体調等を把握して、事故のない様に努めています。		これからも定期的に研修をしていき、事故防止に取り組みたいと思います。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	消防署の協力を得て救命救急の受講を受けているが、社内研修などで応急手当や初期対応はくり返し学習しています。		急変や事故発生時の連絡体制も有り、すぐに対応できる様にしています。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年に2回消防署の協力の下避難訓練や自主訓練、夜間避難訓練を行っており、近隣しているホームとの協力は得られています。		今後も避難訓練や救命救急の受講を行っていきます。敷地内にある2つのホームと協力し、入居者の避難や救助体勢を得ています。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	入居者の変化等を早めに家族に伝えており、対応策について個々に話し合いを行っています。		変化があれば家族に伝え、相談し個々の変化に合わせて支援を行っていきたいと思います。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	職員は入居者のその日の体調や様子を確認し、異変の発見に努め、速やかに対応できる様に援助しています。		顔色・話し方・食欲・歩行状態の観察や血圧の測定を行っています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	社内研修にて学んでいます。間違いの無い様一人ひとりの名前と日付を確認して服薬の援助をしています。		服薬管理を行うと共に薬の説明書を事前に読んでおき、安全に提供していきたいと思います。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	排便の有無を確認し記録しています。乳製品を多く摂る様心掛け、体操等で体を動かす様にしています。		主治医より下剤が処方されています。ホームの看護師と連絡を取り、主治医の指示のもと下剤の調整を行っています。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後声掛けを行い、歯磨きをして頂いています。夕食後は義歯を預かっており、翌朝に返しています。		毎食後職員が見守りや介助にて義歯や口腔内を磨いています。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	脱水にならない様水分量をチェックしています。食事が極端に減っていないか状況によって粥や刻み食などで一人ひとりに合わせて支援しています。		食事量と水分量を毎日記録に残しています。主治医には状態を相談してアドバイス等もらっています。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	利用者、職員は毎年インフルエンザ予防接種を受けています。感染予防対策として次亜塩素酸ナトリウムでの掃除を行っています。面会時にも手洗い・消毒・マスクの使用をお願いしています。		汚物処理には、使い捨てマスク、手袋、エプロンを使用し汚物の処理をする。使用後は速やかに処理を行っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>まな板は調理後に漂白をし、布巾、スポンジ、たわし、台所用品は毎日漂白してキッチンチェック表に記入しています。食材は冷蔵庫、冷凍庫で保管し賞味期限などを確認している。</p>		<p>これからも調理器具や食材の管理を徹底して行っていきたいと思えます。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関の周りにはプランターを設置して花を植えている。中庭には芝生、樹木、菜園もありベンチを設置し気軽に出入りする事が出来る様にしている。</p>		<p>利用者と家族が中庭で一緒に過ごしたり、近隣の人も立ち寄って頂いている。</p>
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有スペースにはカレンダーや絵画などが飾られ、家庭的な雰囲気や季節(正月、クリスマス、ひな祭り)に合わせた装飾を行っている。不快な音や光がないように職員が調整している。</p>		<p>これからも居心地良く過ごせる様に工夫していきたいと思えます。</p>
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>それぞれ自分の居場所を確保しゆったり過ごしたり気楽に明るく他者とお喋りを楽しまれています。</p>		<p>これからも安心して自由に過ごしていただけるように心掛けていきます。</p>
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には本人の馴染みの物を設置し、居心地良く過ごせるように工夫しています。</p>		<p>家具や写真・置物など今まで使用された物を持ってこられています。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>湿度・温度計を設置し確認し、調節している。臭いなどは換気扇を回している。掃除の時は窓を開け空気の入換えを行っている。</p>		<p>これからも換気や温度・湿度に注意して居心地よく過ごしていきたいです。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	ホーム内はバリアフリーで安全に歩け、転倒につながらない様になっています。廊下、階段、トイレ、風呂場、脱衣所など手摺りを設置しています。		これからも安全に自立した生活を送れる様努めたい。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	居室には各自、表札を付け分かる様にしています。利用者が出来る事、出来ない事を把握して、できなことは一緒に行って頂ける様に自立に向けての支援を行っています。		これからも継続していきたいと思います。御本人の出来る事を無理なく行って頂いたり、出来ない事も一緒に行う事で自信の回復に向けて行ける様にしていきたいと思います。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	敷地内にある畑で野菜や花を植え、職員や近隣のホームの方々と一緒に楽しまれています。		これからも継続していきたいと思います。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	④
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	③

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	②
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない	①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)